

# 天下茶屋中学校

## 校長室便り



平成二十八年一月七日号

### 明けまして おめでとうございます

保護者・地域の皆さんには、平素より本校の教育活動の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

さて、生徒の皆さん、平成28年(2016年)申年の幕開けとなりました。2学期の終業式では、冬休みのしおりの表紙に書いてある2つの文について話をしました。一つは、「去年の自分より劣ることは恥ずかしい」ということ。もう一つは「一年の計は元旦にあり」ということでした。

新年を迎えるにあたり、多くの人が、自分の成長に向けて頑張ろうとしていることでしょう。今の気持ちを持続させ、さまざまなことにチャレンジし、よい結果を出していくには、先を見据えた計画をしつかり立てることが大切です。

ところで、一昨日の新聞に次のような記事が掲載されました。パラアスリートの江口舞さんという女子高校生についての記事でした。パラアスリートとは、障害とともにスポーツを楽しむ競技者のことです。彼女は高校2年生の時、駅のホームで電車と接触する事故に遭いました。事故の記憶は全くなく、気がついたときには病院のベッドの上にいたそうです。そして、父親から左足の膝から下を失ったことを聞かされます。彼女にとつて、どれほどショックなことだったでしょうか。もちろん家族に

とつてもです。しかし、彼女はこのように言っています。「悩んだのは3日間」「生きただけでよかったです。人生を楽しむしかない」と片足のなくなつた自分を受け入れたそうです。

そんな彼女が出会ったスポーツがアーチェリーでした。集中力と高度な技術を要求されるスポーツです。彼女の場合、左足の義足が右足の成長とバランスがとれていないので、通常より身体に負担がかかるそうです。しかし、練習を始めると、どんどんなつても自分が納得いくまで練習をやめないそうです。彼女を指導する監督さんは言います。「何よりガッツがある」

彼女の夢は、パラリンピックの代表となり、世界の舞台に立つことです。そのためには不斷の努力を続けているそうです。この記事を読みながら、自分自身に勝つことの大切さを感じました。どんな苦しいことがあつたとしても、自分を奮い立たせ、一つずつハードルを乗り越えていくことの大切さです。皆さんも自分に負けず、確かな目標、綿密な計画、不斷の努力をもつて、自分自身を成長させていきましょう。

### 1月の行事



12日（火）	3年生第5回実力テスト	国・英
8日（金）	3年生第5回実力テスト	数・理・社
7日（木）	始業式	
28日（木）	新入学説明会	3年生学年末テスト

学校ホームページ の閲覧は  
で検索。  
[大阪市教育委員会 天下茶屋中学校](#)

